

大町ダム、高瀬川の「瀬切れ」 解消のための「追加放流」を終了！

大町ダムでは、8月27日に高瀬川において「瀬切れ」発生の恐れがあることが確認されたため、ダムから8月27日9時00分より、通常放流量に追加して水を流す「追加放流」を開始し、30日17:00に終了しました。
追加放流は8月9日、16日、20日につづき、4回目です。

1. 経過

8月 9日 16:00 現地にて瀬切れを確認

8月 9日 17:30～ 毎秒1.0m³の追加放流開始

8月13日夜から14日早朝にかけての降雨により、高瀬川の流量が回復

8月14日 9:00 追加放流を終了

※8月9日～14日の追加放流総量は約36万m³

8月16日 10:00 現地にて瀬切れ発生の恐れがあることを確認

8月16日 13:30～ 毎秒0.5m³の追加放流開始

8月17日夜の降雨により、高瀬川の流量が回復

8月18日 9:00 追加放流を終了

※8月16日～18日の追加放流総量は約15万m³

8月20日 9:30 現地にて瀬切れ発生の恐れがあることを確認

8月20日 9:30～ 毎秒1.0m³の追加放流開始

8月23日夜の降雨により、高瀬川の流量が回復

8月24日 9:00 追加放流を終了

※8月20日～24日の追加放流総量は約61万m³ 追加放流累計:約112万m³

8月27日 9:00 現地にて瀬切れ発生の恐れがあることを確認

8月27日 9:00～ 毎秒0.5m³の追加放流開始

8月30日夕方の降雨により、高瀬川の流量が回復

8月30日 17:00 追加放流を終了

※8月27日～30日の追加放流総量は約14万m³ 追加放流累計:約126万m³

2. 瀬切れの定義

瀬切れとは、川の流れが途中で途切れてしまう現象です。川本来の「流れ」をなくし、川の一部が途切れることにより魚類等の高瀬川に棲む生物に大きな影響を与えます。

大町ダムでは、河川水深が対象魚類の移動できる限界の水深である約15cmを下回った状態を「瀬切れ」としています。

対象魚類・・・ウグイ、アユ、ヤマメ、カジカ 等